第6回 THE GATE

総評 SOU HYOU

鈴ノ木ユウ

今回の応募作はどれも面白かったし、それにすごく読みやすかったですね。ただ、もっと短くまとめられた作品も多い印象です。感情を言葉で丁寧に説明するのではなく絵で伝えるなど、もっと違うアプローチができたはず。また、これから連載を目指すにあたり、担当者とよく話し合い、自分の枠を自分で決めずにいろいろチャレンジしていってほしい。柔軟に人の意見も聞いて変化する中で、はじめて見えてくるものというのは絶対にあるはずです。そうすることで、今より確実に一歩先へ進めると思います。

山岸涼子

私の場合、自分の中にある感情をどう表現するかというところからお話を考えるようにしています。今回の応募作には、どこか感情表現の物足りなさを感じる場面が若干ありました。とはいえ、ツボを押さえた話作りで、皆さんのレベルの高さに驚きました。最近はWEB媒体が増え、紙の漫画が残ってほしい自分としては、この先の漫画界がどうなるのか心配しつつ恐れています。ただ、きっと本当に面白いものはどんな時代だろうと変わらず必要とされると思います。ですので、皆さん頑張って面白いものを作り続けていきましょう。

THE GATE 事務局長

第6回THE GATEにたくさんのご応募ありがとうございました。第5回から続投の鈴ノ木ユウ氏に加え、今回から山岸涼子氏を審査員に迎えた選考会では多くの意見がかわされました。美しい描線と猫の愛らしいキャラクターが支持を集めた『フク』が見事大賞に。山岸涼子賞を受賞した『赤くたぎるドブ』は圧倒的な熱量が、鈴ノ木ユウ賞を受賞した『Light&Specs』は独創的なセンスが、編集部賞を受賞した『夜明け待つ星』は少女と宇宙人のほほえましい交流がそれぞれ評価され、惜しくも奨励賞となった5作品も力作ぞろいでした。今回はレベルの高い回でしたが、第7回は今回以上の作品が集まることを期待しています。前回の総評にも書きましたが、荒削りでもいいのであなたにとって「どうしても表現したい感情」をモーニングにぶつけてください!

山岸凉子氏、鈴ノ木ユウ氏が審査員を務める
第6回THE GATE、その受賞者が決定しました!!

大賞 100万円

モーニング&Dモーニングに掲載

「フク」 山村 東（やまむら はる）

（45歳／東京都）

今号359ページより掲載!

鈴ノ木ユウ

全体的なレベルは一番高かったと思います。主人公のフクが軽薄なタイプの白猫にだまされてしまうとか、人間の子供とすごく仲が悪いとか、きれいじゃない要素があると作品としての深みが出てくると思いました。ただ、それは自分が描くとしたらそうするな、というくらいのもので、とても爽やかでいい話だったと思います。絵もとても上手で読みやすいですし、今回の応募作のなかでは文句なしの大賞です。

THE GATE事務局長

美しい線! ウィットに富んだ会話!! そして、とにかく愛くるしい猫!!! これらを江戸の空気に包んだ本作が審査員の圧倒的な評価を受け大賞を受賞しました。選考会でも「画力は十分にプロレベル」「完成された世界観」と絶賛のコメントが続出。作者の山村東さんには、ぜひ大人が楽しめる粋な物語で連載を勝ち取っていただきたいです。本当におめでとうございます!

山岸凉子

絵も話もかなりの水準に至っており、ほとんどプロと言っていいくらいですが、連載にするとしたら作品に少し重みを出さないといけないと思いました。また、猫の世界だけでなく、人間の世界も関係してくるので、猫漫画としてはちょっと中途半端になってしまったように思いました。ただ、主人公の猫をふてぶてしくも可愛く描けており、最終ページにはすごくほっこりしました。すぐにでも連載できる方だと思いますし、大賞にふさわしいと思います。

あらすじ
自分を大事にしてくれた飼い主のおばあさんが亡くなり、息子夫婦の家で飼われているフク。家の中で居場所をなくしてしまったフクは、三味線にするために殺されてしまった猫の話を聞く……。江戸の町に健気に生きる猫たちの物語。

人間味あふれる猫たちのやりとりに、つい引き込まれてしまいました。表情の変化も丁寧に描けており、猫好きなら共感できる場面がたくさんあります。江戸と猫をテーマに、連載に向けて頑張っていただきたいと思います。

受賞のことば
自身に余る賞に大変恐縮しております。少し前に死にそうな目にあいまして、漫画を描こうと思いました。よろしくお願いします。

審査員賞
山岸凉子賞
60万円

「赤くたぎるドブ」

丘倉忠明（おかくら ただあき）
（30歳／東京都）

18号に掲載!
（4月5日発売）

山岸凉子

私個人としては、この作品がイチオシです。時折、セリフで「おっ」と思わせるものがありましたし、絵からも熱意と気迫を感じます。私は本来、暴力的な描写は苦手なのですが、今回の応募作では一番ストーリーとしてまとまりがあり、つい引き込まれてしまいました。幼児虐待というテーマも、どこに元凶があるのかをしっかり提示できています。細かいところですが、主人公の筋トレシーンなど入れると、キャラクターの背景がわかりやすくなると思います。今後の成長が非常に楽しみな方です。

あらすじ
夜の街。悪党どもを暴力で制裁する謎の（なぞ）マスク男。不幸な出生がトラウマとなり、極端に悪を憎むその男は、今夜も歪んだ正義を振りかざし暴力の限りを尽くす。だが、ある少年との出会いが、男を絶望の輪廻から解き放つ。

担当編集より
強烈な作者のメッセージとエネルギーに溢れた作品。バイオレンス描写が目的にならず、救いや希望を描くための手段になっているのも良い。惚れました。

受賞のことば
才能がないことを自覚しながらも描き続けてきました。良い評価をしてくださったみなさま、本当にありがとうございます。

審査員賞
鈴ノ木ユウ賞
60万円

「Light&Specs」

moya（29歳／神奈川県）

鈴ノ木ユウ

おしゃれでスタイリッシュで、とてもかっこいい作品です。こういった作風が好きな人は多いと思います。ただ、誰が話しているセリフかわからないところもあり、読みづらさは感じました。もともとのファンであればしっかり読み込んでくれると思いますが、雑誌で偶然見かけて読み始めるとしたら、少し抵抗感があるかもしれません。著者の感情だけで話が進んでいるようにも思えたので、なぜ相棒が電球なのかなど、キャラクターをもっと深掘りして欲しいと思いました。この絵は武器になると思うので、それを生かしてぜひ連載を勝ち取って欲しいと思います。

あらすじ
うだつの上がらない刑事グレイと、その相棒の電球型アンドロイド。殺しからペット探しまで、警察署内の雑用係をこなす日々だが、グレイはかつての相棒を不可解な事故で亡くしていて……。

担当編集より
画力・構図のセンスが抜群で、視覚的に惹きつけられます。スタイリッシュさに読みやすさをプラスして、読者をシビれさせる連載を目指しましょう!

受賞のことば
このような賞を頂けるとは思ってもおらず驚きと恐縮の極みです。生きてて良かったです。今後も精進致します。

編集部賞 50万円

モーニング&Dモーニングに掲載

「夜明け待つ星」

山根 甲(やまね こう)（22歳／神奈川県）

26号に掲載！（5月31日発売）

モーニング 編集長・宍倉

素晴らしい絵でした。スミベタを基調にした夜の闇の濃さ、グレーのトーンで処理された薄暗い室内、そこに射しこむ月の光の白さが印象的に表現されていました。スタティックな作品世界の雰囲気ともマッチしていました。ところで宇宙人のキジではなくて、人間だったらチカの心に寄り添えなかったのでしょうか？漫画の基本は人間ドラマだと思います。人間では描ききれないものを何に託すのかを考えてみてください。

あらすじ 家から出られず引きこもっている少女・チカと宇宙人・キジの心の交流を描いた物語。ひとりぼっちでは変われなかった閉じた「世界」が、誰かと出会うことで、ひらかれていく。

担当編集より 作者は、自分の描きたい世界を明確に持っている。今後は、それをどう漫画に落とし込めば面白がってもらえるのか、読者を意識した漫画作りを一緒に考えていきたい。

受賞のことば 賞を頂くことができてとても嬉しいです。より良い作品が描けるように、今後とも努力していきたいと思います。

奨励賞 10万円

Dモーニングに掲載

「コンテンポラリーダンサー井上」

高瀬あきら(たかせ あきら)（23歳／宮崎県）

担当編集より 憧れの女子が奇妙なダンスを踊っているのを目撃してしまった主人公。彼の心情や行動に男子高校生としてのリアリティが盛り込めたらより良かった。

「激闘！焼き鳥フェンシング」

ふくもとまさひさ（21歳／千葉県）

担当編集より 「焼き鳥」と「フェンシング」を組み合わせた一本槍で突き抜けていく、作者の胆力と演出力に驚嘆です！

「純白と裸足」

筒井テツ(つつい テツ)（26歳／福島県）

担当編集より 純粋で芯の強そうな歌姫と、彼女を取り囲む音楽業界の大人たちをリアリティたっぷりの会話で見せることができた。一層の画力向上に取り組もう！

「木乃伊(ミイラ)」

外木 寸(とのぎ すん)（31歳／千葉県）

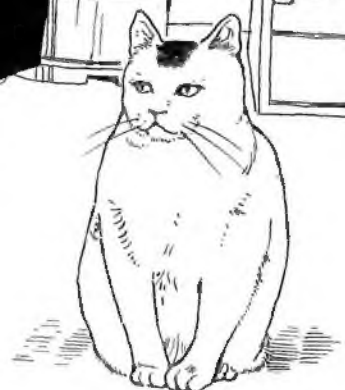
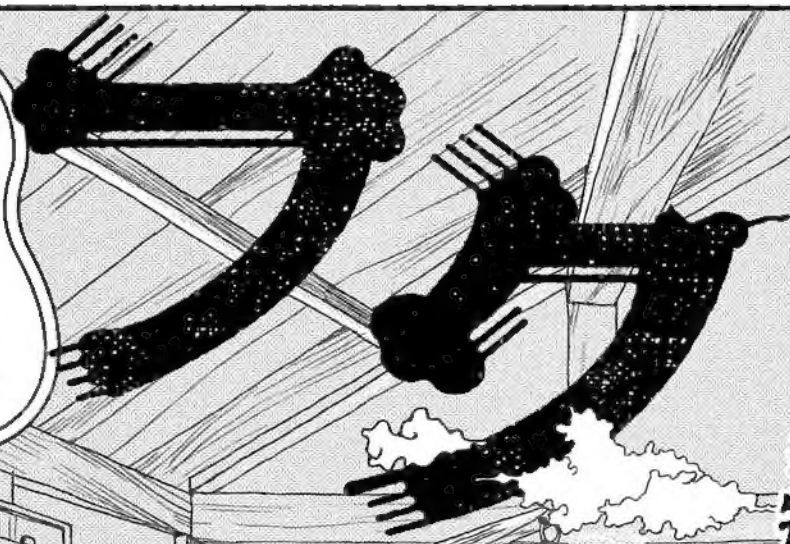
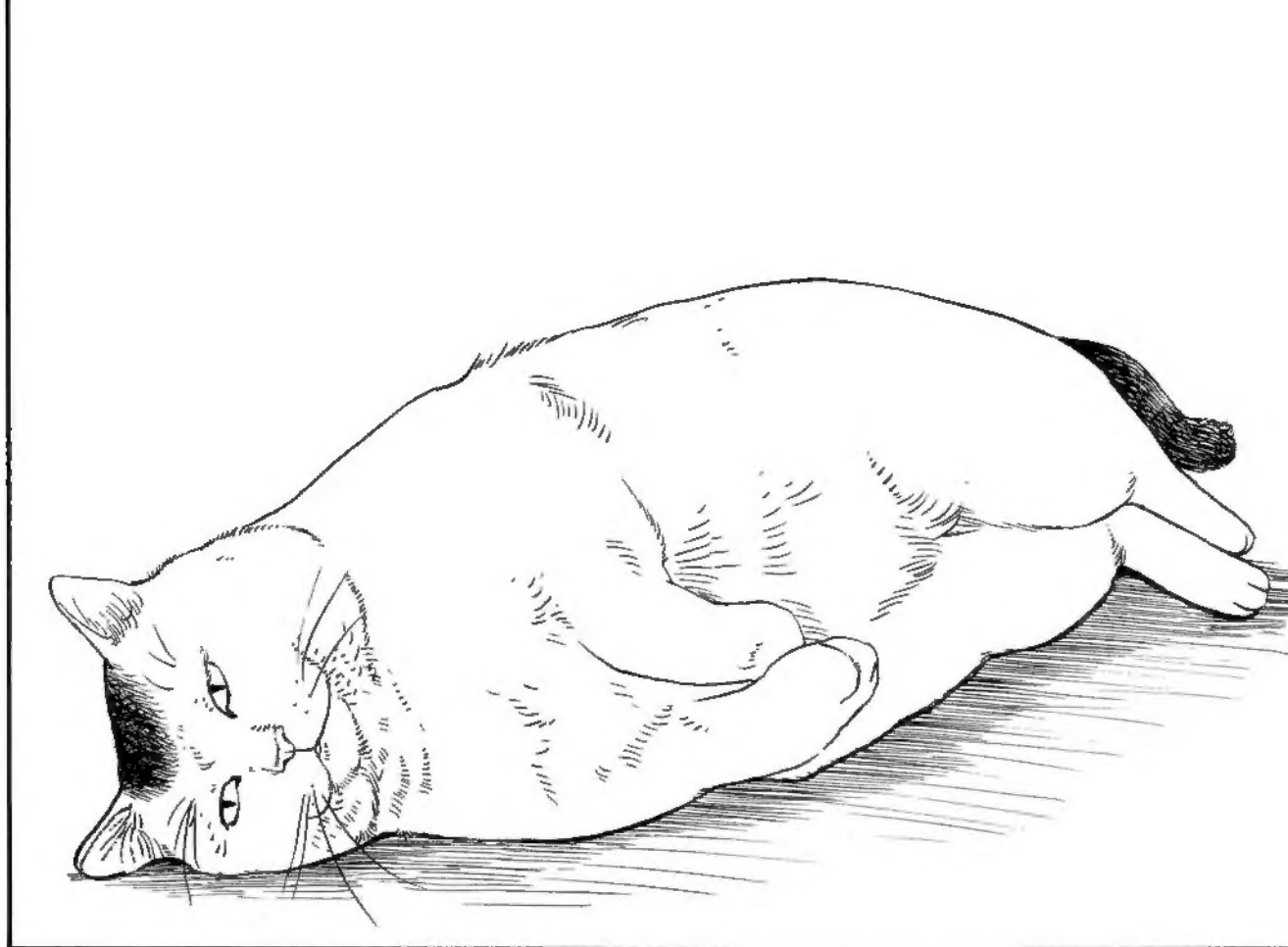
担当編集より 見やすく読みやすい絵と、不老不死というテーマを正面から描いているのが魅力です。設定の粗はあれど、間違いなく力作です。

「接吻 THE KISS」

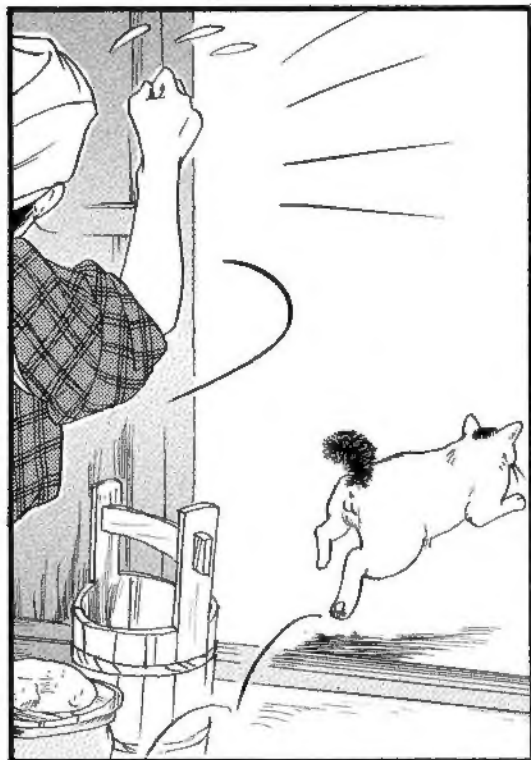
サハラアキラ+otom（52歳／東京都）

担当編集より 画面から漂う、怪しげなオーラ。緻密な描写と不可思議なストーリーで、見る者を惹きつける。モーニングならではの、オトナが描いたオトナのための漫画。

◀◀◀◀◀◀ 次ページから大賞作品『フク』を掲載!!

第6回 THE GATE 大賞受賞作！
フク
世につれ、人は変わっても、
彼奴は変わらずそこにいる。
江戸猫物語、開幕！
山村東

人はいつも何かに追われてる。

フク

ブガ

ああ
面白くねぇな
かわいがってくれたばぁさんが死んで息子夫婦だけになっちまったが
あいつら何もわかっちゃいねぇ
よう

しけた面 してんな
虎次(とらじ)か

子供がいるのもまたよくねぇ

いつだったか能天気に尻尾を握られてよ
うっかり噛んじまって

以来陰気なツラでうらめしそうに見てやがる

ところで桶屋のシロのことは聞いたか
いや

ああ
ばぁさん
戻ってきて
くれねぇかなぁ

また
そんなところで
ころがって
ふふふ

そういや
最近
名前で
呼ばれて
ねぇや

フクッ

やっと帰ってきたねこのバカ猫
なんだよおかみさん

お前だろう部屋をメチャメチャにしたのは

いつの話だよ
バカ猫バカ猫
ぐりぐり
昔すぎて覚えてねえなぁ

タン!
庭だって
そうだよ

せっかく
育った植木が
台無しだ
おい
そりゃ
俺じゃねえぜ

ぬれぎぬだぜ
ニャー

ニャーーじゃ
ないよっ
バシッ
いてえ

10

金坊!
お前の
手習いだろう
片付けな!

フク

ザリ
ザリ

タッ

あっ
こらっ

ザリ
ザリ
ザリ

ああ
ひでえ目に
あった

ザリ
ザリ
ザリ
ザリ

フー

サッ
あっ
待って
ください
その……
お嬢さん

お嬢さんじゃないわ子連れのオバサンよ
いえあなたは若くて…

とても美しいです

ほほほお上手
ニャー
ここらじゃ見かけない方ですね

ええ
隣町から来ましたの
ニャー
ニャ

このあたりは猫に優しい人間が多いと聞きましたわ
そりゃあもう！
うちのばぁさんなんか指折りの愛猫家でしたぜ

もう亡くなっちまいやしたがね……

こんどお宅にお邪魔したいわ

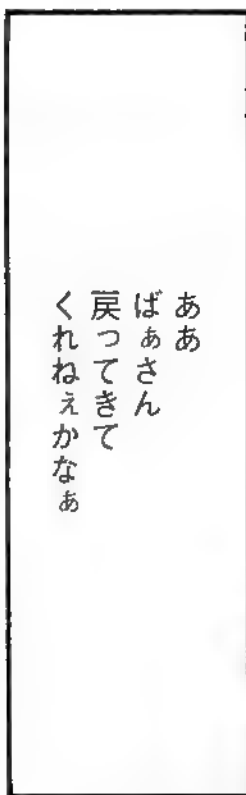
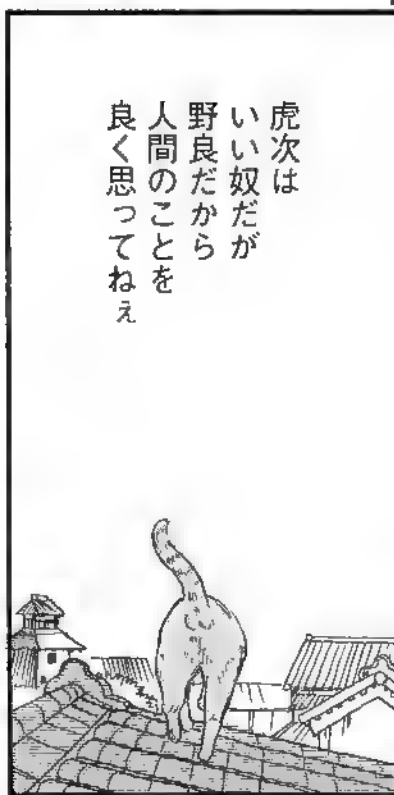
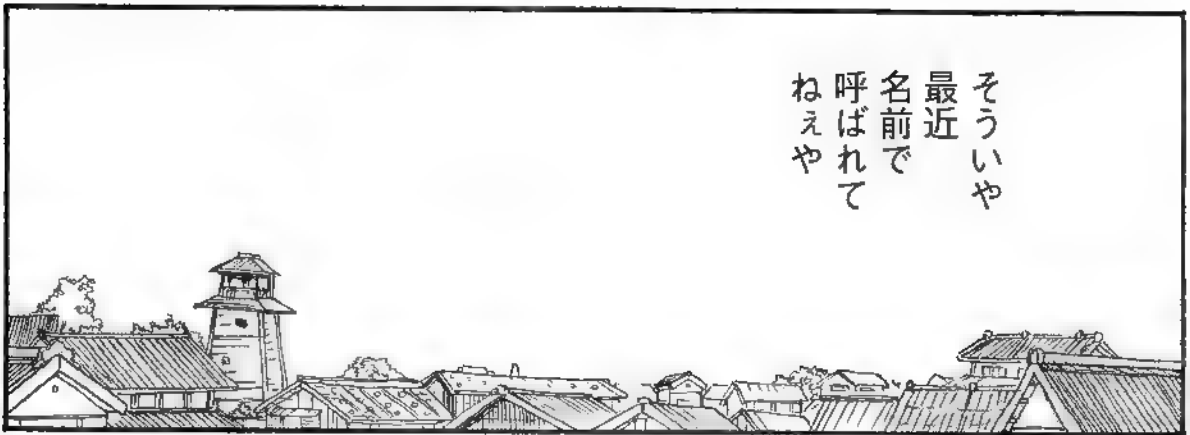
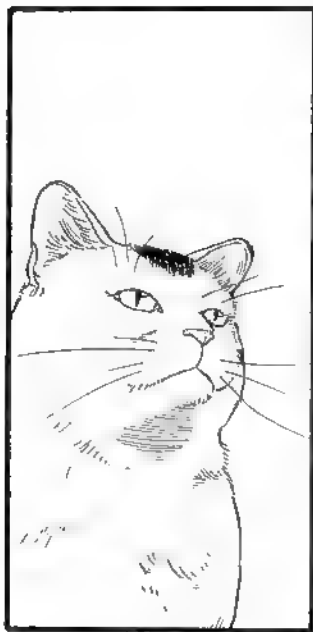
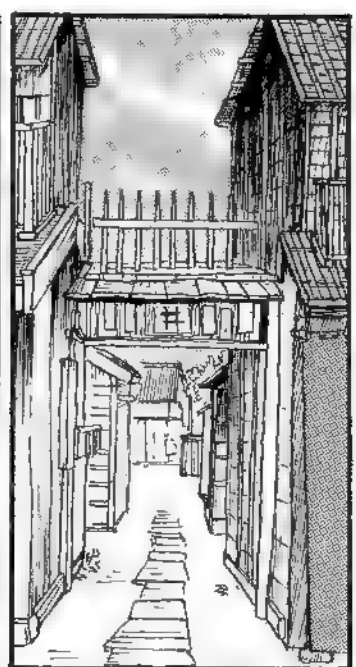
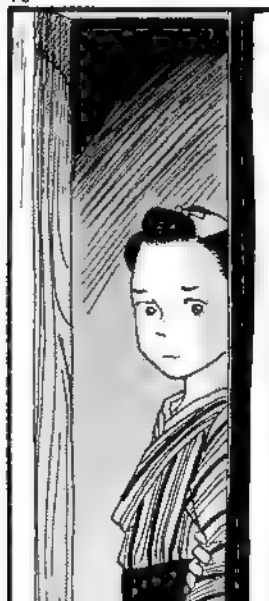
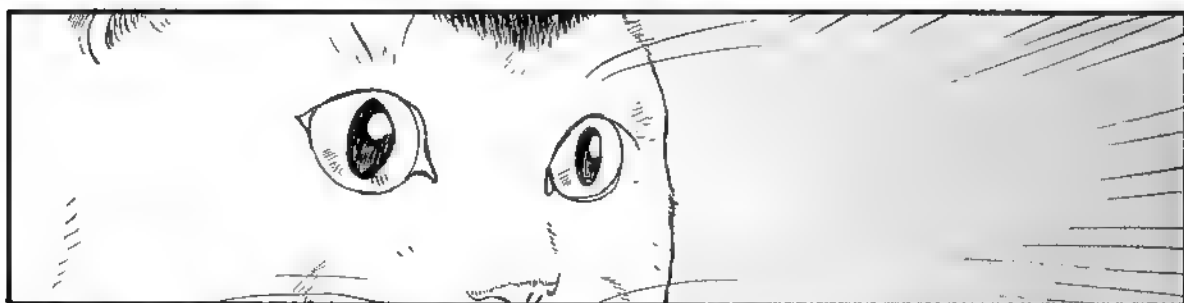
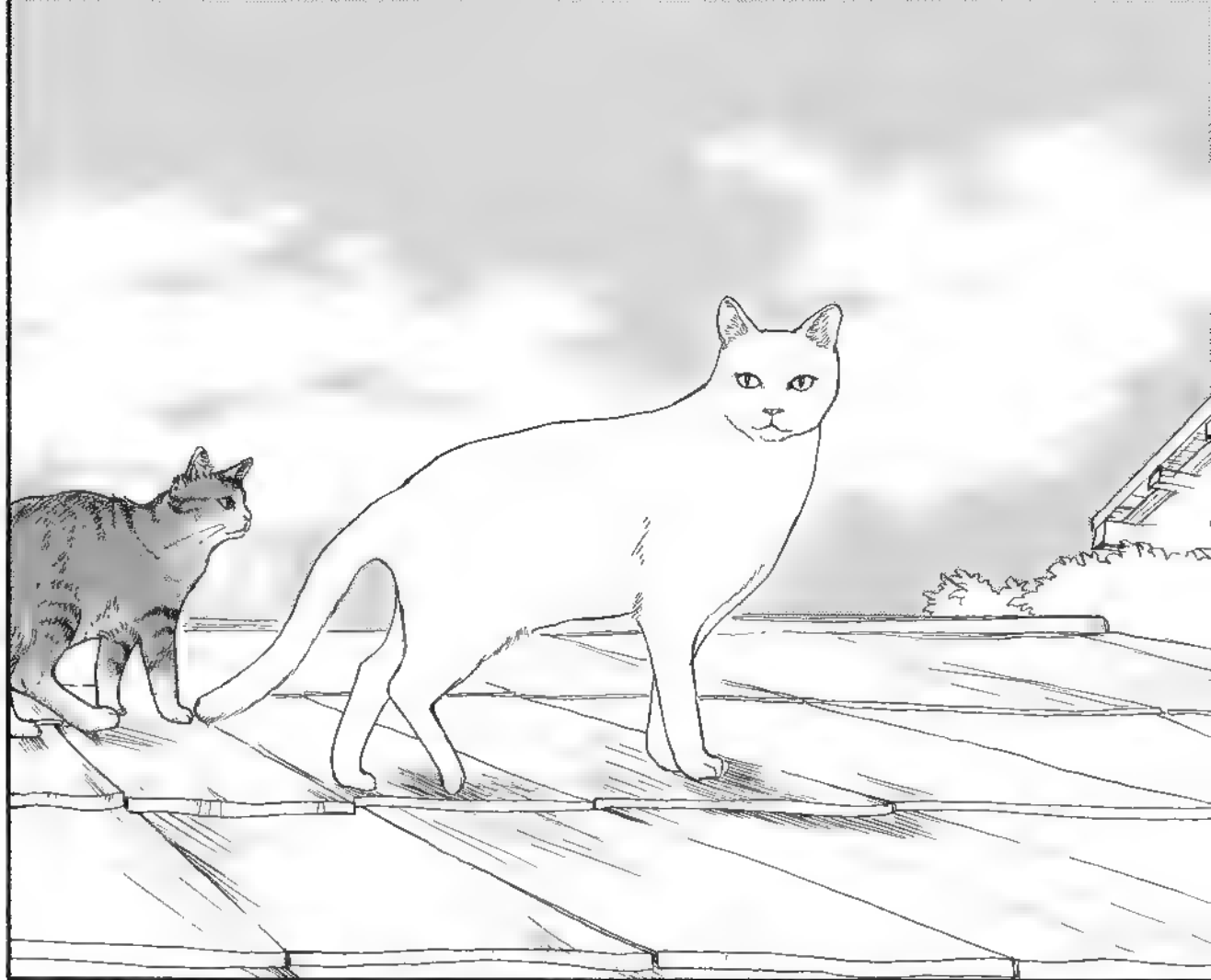
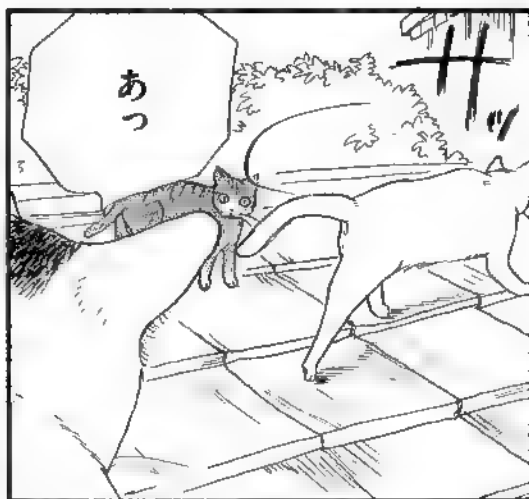
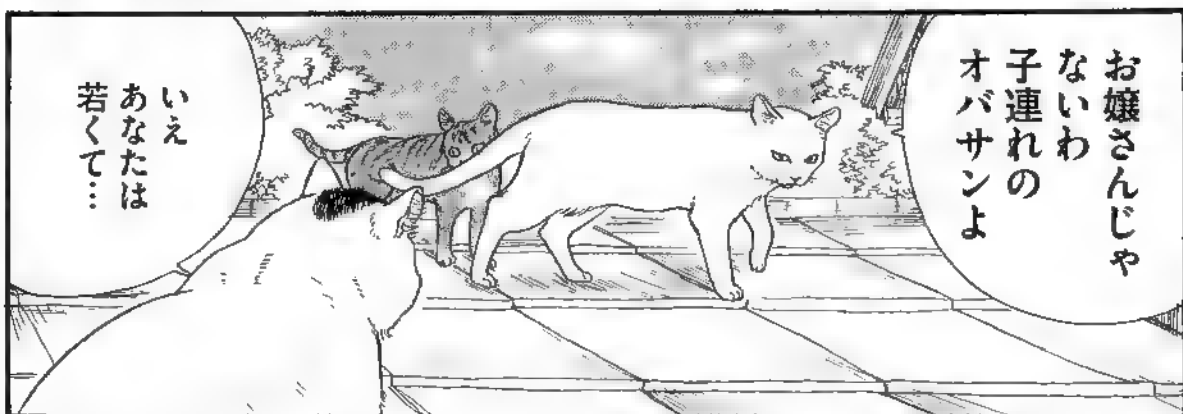
フク

久しぶりに
いい気分だ
さ
むさ苦しい
ところ
ですがね
どうぞ
ゆっくり
なすって
下さい
母ちゃん
ここ
来たこと
ある
シッ

あっしの食い物でよかったらどうですか
こちらに
……
空
カラ
ない
おかみさん頼むぜ〜〜
あら…
でもあちらからいい匂いが……
え?

あわびの殻の皿

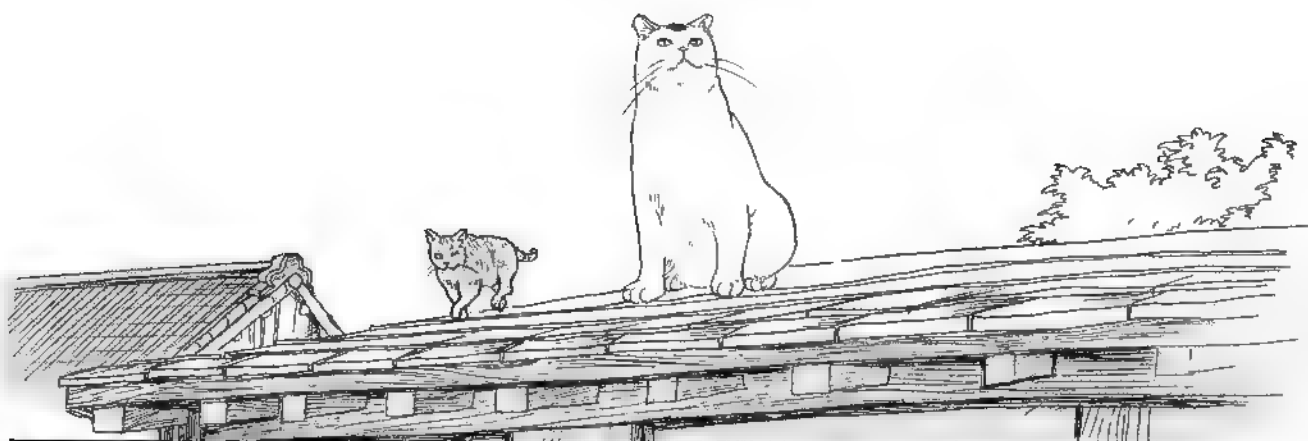
いけませんぜ
ありゃあ
人間の
食事用だ
あれに
手を出したら
あっしの面目
まるつぶれだ
でも
あなたの分を
用意しなかったのは
あちらでしょう？
かわりに
頂いても
構わないと
思いますわ

ごめんなさいね
あたくし
あなたが
軽んじられている様で
悔しいんですの

ああ
おいしい
おいしいね
かあちゃん
ありがとう
ございます
この子も
すっかり
ご馳走に
なって
みなさんに
会えなくて
残念ですわ
では
また
改めて

やれやれ
ばぁさんがいたら
申しひらきも
できねぇ

でも
おかみさん
たちだって
悪いんだぜ

俺ァ
今の生活にゃ
不満なんだ

よお
虎次
さっき
お前が
子連れの白猫と
いるとこを
見たぜ
ああ
あんまり
野暮なことは
言いたく
ねえが……
あの女は
やめといた
方が
いいぜ

ありゃあ
見かけに
よらず
大した
タマだ
俺ァ
あいつは
信用ならねぇ
お前んちの
庭を荒したのも
あの女と
子供だ
やめろ！
あの女を
悪く言うのは
やめろ！
いくらお前でも
怒るぜ
……
ま
俺にゃ
関係ねぇ
好きに
しな

じゃあな
おととい
きやがれ!

なんなんだ
虎次のやつ

あいつ
妬いてるんだ
へっ

あの女だ

スリ
ナー
ナー

きいとくれよ
お前さん

フクはもう
手に負えないよ
無茶苦茶だ
そうかい？

フーッ

あの猫は
どっかに
やっちゃった方が
いいのかねぇ

どうやら
あの女ァ
虎次に
惚れている
らしい
ナーーゥ
虎次は
そうでも
ない様だが
つまらねえな
あれです
あの頭の
黒いやつ

ドドドッ
こら
じっとしろ
ギャアアアアァ
ニャアアアアア
どうも
お世話様
おかみさん
猫の代金だ
あら
すみませんね
かあちゃん…
フク
どうするの

欲しがってる人がいるからくれてやるのさ
少しでも金になってよかったよ

そういや桶屋さんに聞いたんだけどさ
猫の皮で三味線を作るだろ

乳が八つある猫が高く売れるらしいよ
いい音が出るんだってさ

そういえばフクの乳はいくつあったかねえ？

バカ――ッッ

ニャー

ニャー

こりゃ
ずいぶん
元気がいいね

へい

ぷくぷく
太って

いい猫だ

へい

ニャー

傷を
つけるんじゃ
ないよ
ニャーニャー
旦那様

おねがいです
フクを
返して
下さい

ばぁちゃんが
可愛がっていた
猫なんです
ひっかかれたり
悪さも
されたけど…

でもそれで
三味線に
されるのは
かわいそうだ

はっはっはっはっ

お金は返しますから許して下さい
……なんの話だね
さあ

三味線になんかするものか
うちは米屋だからね
鼠取り用に猫が欲しかっただけだよ

飼っていた猫がこの前病気で亡くなってしまってね
代わりの猫を探していたのさ

よかった

でもフクが殺されるかもと思った時

俺がフクを嫌っているのが理由のひとつになっていたら嫌だと思ったから——

だから
フクのためじゃない
自分のためかも
しれない

父ちゃんも
母ちゃんも
迷惑かけて
ごめん
ペこり

ポリ
ポリ

ちゃんと
面倒
みれるのかい？
うん
フクも
悪さしない！
ニャア

母ちゃん
ムリだよ
猫だもん
ニャー――

その後
俺が
厄介者なのは
相変わらずだが

フク

まあ
図々しく
やって
いくさ

ナー

猫だからな

へっ

フク

パタ

35

終わり

山村東氏は「江戸と猫」をテーマに次回作を鋭意準備中！ご期待ください。